

2025(令和7)年度
栃木市立美術館・文学館 展覧会カレンダー
2025 - 26 Calendar

*会期は変更する場合があります。

4 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	5 日 月 火 水 木 金 土 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	6 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
7 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	8 日 月 火 水 木 金 土 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	9 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30
10 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	11 日 月 火 水 木 金 土 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	12 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
1 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	2 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28	3 日 月 火 水 木 金 土 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

美術館企画展開催日.....
文学館企画展開催日.....
美術館の休館日.....
美術館・文学館の休館日.....

■ 美術館・文学館開館情報

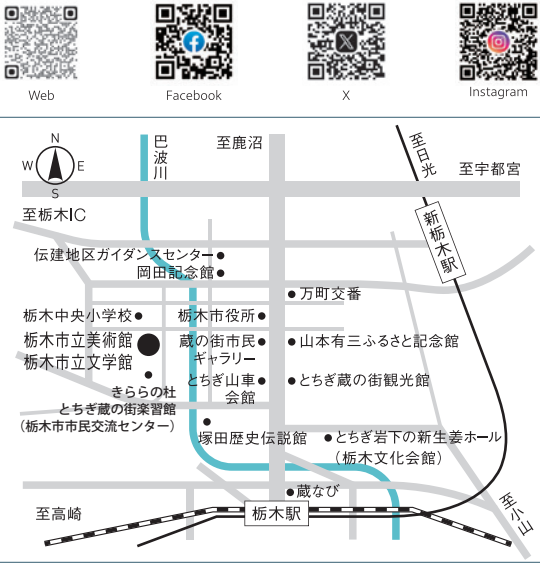
開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休 館 日 月曜日(祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)
祝日の翌日(土曜・日曜・祝日の場合は開館)
年末年始(12/29~1/3)
展示替えのための整理期間

観 覧 料 *各館の企画展観覧料には、収蔵品展(美術館)、特集展(美術館)、
常設展(文学館)の観覧料が含まれます。
*M割(ミュージアム割引)
M割参加館の有料入館券(M割印押印あり)を持って、入館日から
6か月以内にM割参加館に入館すると料金割引を受けられます。
参加館については栃木県立博物館協会または当館公式サイト
をご覧ください。
*東武沿線美術館連携事業
下記の美術館で使用了入館券を各美術館受付にご提示いただ
くと、入館料が割引になります。ただし、同一館での使用は対象
外となります。*料金割引内容は参加館によって異なります。
・足利市立美術館 ・鹿沼市立川上澄生美術館 ・小杉放庵記念日光美術館
・佐野市立吉澤記念美術館 ・草雲美術館 ・栃木市立美術館
・栃木市立文学館
他の割引制度との併用はできません。

無 料 日 *毎月第3日曜日「家庭の日」(中学生以下の方の同伴者2名まで)
6/14(土)、15(日)(県民の日)、11/3(月・祝)(文化の日)

ウェブサイト <https://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum/>



■ アクセス 電車 栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分
バス 栃木駅(北口)からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で
「藤沼酒店前」下車、徒歩1分
車 東北自動車道、栃木ICから約10分

■ 駐 車 場 駐車場数 42台(おもいやり駐車スペース4台)、大型バス用2台
*要事前予約

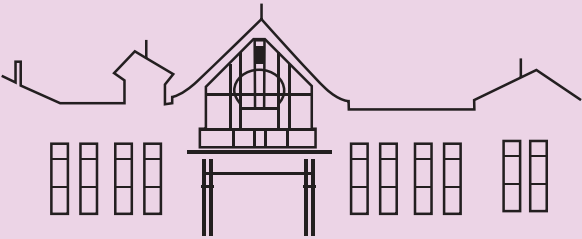
栃木市立美術館 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 TEL:0282-25-5300
栃木市立文学館 〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-31 TEL:0282-25-5400

栃木市立美術館
Tochigi City Art Museum



栃木市立美術館・文学館
展覧会スケジュール

2025年4月 - 2026年3月(令和7年度)



栃木市立文学館
Tochigi City Literature Museum

栃木市立美術館

企画展

大広重展—東海道五拾三次と雪月花 叙情の世界—
4/12 ㊥—6/15 ㊤



歌川広重《東海道五拾三次之内 日本橋 朝之景》



歌川広重《名所江戸百景 亀戸梅屋舗》

江戸時代後期に活躍した歌川広重は、名作「東海道五拾三次」シリーズ(揃物)で知られる浮世絵師です。本展覧会は「東海道五拾三次」をはじめ、フランスの後期印象派の画家たちを魅了した「名所江戸百景」などを展示します。

展示室A、B
一般／大高生 800(640)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

収蔵品展／特集展

特集展 もっと詳しく雪月花 展示室C 4/12 ㊥—6/15 ㊤
観覧料は企画展観覧料に含まれます。

市が所蔵する喜多川歌麿の高精細複製画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」の展示にあわせて、画中に描かれている工芸品を想起させる陶磁器等を展示し、当時の生活と文化を身近に感じていただきます。

栃木市立文学館



小平浪平 栃木市蔵



山本有三 個人蔵



吉屋信子 国立国会図書館蔵



柴田トヨ ㊥引田匡史

企画展

1 階とちぎサロン

旧栃木町役場庁舎に関する展示、市ゆかりの先人に描かれた紹介、日立製作所創業者・小平浪平に関する展示

1階とちぎサロン
無料

常設展等

2 階常設展示室

山本有三・吉屋信子・柴田トヨを中心に市ゆかりの文学に関する展示

2階常設展示室
一般／大高生 220(170)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

い
ち
からわかる！浮世絵超入門+オドロキの超応用編
前期:7/5㊥—8/17㊤ 後期:8/21㊥—9/23㊥・㊤ 7/5 ㊥—9/23 ㊥・㊤



楊洲周延《秋園菊花の盛》
栃木市蔵(石川常四郎コレクション)



深斎英泉《青楼立美人》
栃木市蔵(石川常四郎コレクション)

浮世絵の歴史や制作方法、社会の中での受け入れられ方について、わかりやすく解説します。また、世界の美術史における浮世絵の位置を俯瞰します。更に、浮世絵から発想を得た近現代の作品を展示し、その後の影響の広がりと大きさを紹介します。

展示室A、B
一般／大高生 800(640)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

収蔵品展Ⅰ 展示室C 7/5 ㊥—9/23 ㊥・㊤
一般／大高生 330(260)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金
喜多川歌麿の高精細複製画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」と喜多川歌麿の関連資料などを展示します。

喜多川歌麿と栃木の狂歌

前期:10/10㊥—11/9㊤ 後期:11/13㊥—12/14㊤ 10/10 ㊥—12/14 ㊤



喜多川歌麿
《風流四季の遊 寄生の江之島詣》
藤沢市蔵



喜多川歌麿《女達磨図》
当館蔵

美人画を代表する浮世絵師、喜多川歌麿は、狂歌名を持ち、狂歌本の挿絵なども手掛けています。栃木市は江戸時代に狂歌が流行し、地元の豪商である通用亭徳成(通称釜喜)は狂歌を通して歌麿と交流しました。本展覧会は、栃木市ゆかりの作例を含む歌麿の浮世絵や狂歌などを紹介します。

展示室A、B、C
一般／大高生 800(640)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

「喜多川歌麿と栃木の狂歌」開催期間は、収蔵品展等の開催はありません。展示室Cでは企画展にあわせて、歌麿の高精細複製画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」と、その関連資料などを展示します。

鈴木賢二と徹

2026年
1/10 ㊥—3/22 ㊤



鈴木賢二《花》
当館蔵



鈴木敏《花を持つ娘》
当館蔵

本市ゆかりの彫刻家であり版画家の鈴木賢二と、賢二の長男で彫刻家の徹は、彫刻と木版画という、彫り刻む営みの中から、人間愛に満ちた作品を作り続けました。本展覧会は、彼らの芸術を生んだ栃木の地の特性と時代背景を考察し、二人の作品を展示します。

展示室A、B
一般／大高生 800(640)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金

収蔵品展Ⅱ 展示室C 2026.1/10 ㊥—3/22 ㊤
一般／大高生 330(260)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金
令和6年度に収蔵した、本市ゆかりの作家の作品を展示します。

『歷程』と逸見猶吉、岡安恒武

2026年
10/11 ㊥—3/22 ㊤



左:逸見猶吉
『定本 逸見猶吉詩集』
口絵より)
右:岡安恒武
『岡安恒武全集 詩集編』
口絵より)

現代詩の同人雑誌『歷程』は、1935年5月に草野心平、中原中也、逸見猶吉ら8名によって創刊され、その初代編集兼発行人は本市ゆかりの詩人逸見猶吉でした。今年は、最初期の「歷程」創刊から90年の年にあたります。本展では、創刊時の同人である逸見と、1952年に同人となった本市出身の岡安恒武を紹介します。

2階多目的室
一般／大高生 330(260)円 中学生以下無料 ()内は20名以上の団体料金